

(都) 下中野平井線漁業環境調査等業務委託(8-1) 特記仕様書

本業務の施行に当たっては、岡山市調査、設計、測量業務等共通仕様書に対する下記の特記及び追加事項に従い業務を履行しなければならない。

1 履行期限を厳守すること。

2 受注者は、契約締結後速やかに着手するとともに、着手前までに工程表、主任技術者及び照査技術者の通知を行い、承認を得ること。

なお、市担当監督員から作業実施計画書提出の指示があった場合、速やかに提出すること。

3 作業中の事故、その他による一切の損害については受注者の責任において処理すること。

4 本作業中において疑義を生じたときは、計画機関と受注者との協議のうえ決定する。

5 業務計画書

(1) 受注者は、着手までに業務計画書を作成し、監督員に提出しなければならない。

6 納入成果品

簡易報告書(電子成果物含む) 1部

(1) 簡易報告書とは、紙に印刷した成果品を簡易加除式ファイルに綴じたものとする。

7 各種図面のファイル化について

(1) 各種図面(平面図、縦断図、標準断面図、横断面図、構造図、用地図(公図含む)等)は電子ファイル化して提出のこと。

(2) 受注者がCADソフトを利用する場合は以下によること。

1) 使用のCADソフト名及びそのバージョンを記載して提出のこと。

2) CADソフトはSXFレベル2に対応しているものを使用すること。(可能な範囲)

(3) 記録媒体は、CD-Rの使用を原則とするが、他の記録媒体による場合は監督員と協議すること。

(4) 記録媒体のフォーマット形式については監督員と協議すること。

(5) 提出する記録ファイルについて、納品前に以下の通りウイルスチェックを行うこと。(格納された全てのファイルについて実施)

1) 市場性のある(シェアの高い)ソフトにより、かつ、最新のウイルスチェックデータに基づいて(チェック前に最新データを取り込んだ後)ウイルスチェックを行い、安全性を確実に確保すること。

2) ウイルスチェックしたソフト名及びその日付、ウイルスチェック者の氏名を別途記載し提出すること。

8 業務内容について

(1) 業務内容

本業務は、(都)下中野平井線道路整備事業の推進にあたり、周辺河川・海域での橋梁新設工事施工中の漁業環境への影響の評価を実施するものである。

(2) 作業内容

1) 調査業務

①調査準備

調査着手に必要な関係機関への申請及び漁業関係団体への周知、事前準備等

②現地調査(2季調査)

調査時期は、5月と10月を想定しており、詳細については協議し決定する。

③調査業務の直接経費

傭船費、調査機材損料、消耗品費

④水質機器測定

調査時の水環境の状態を把握するため、「調査内容」に示す項目について6地点で海面～1mピッチの機器測定を行う。

⑤採水分析

漁業環境の現況を評価するために「調査内容」に示す項目について6地点2層で採水分析を行う。

⑥採泥分析

漁業環境の現況を評価するために「調査内容」に示す項目について6地点で表層泥の採泥を行う。

調査内容

調査内容 調査の区分			項目	調査方法			
				調査実施時期	調査箇所	調査層	調査内容
共通項目(工事実施前、 工事中及び完成後)			水質	2季(5月,10月)	右岸側橋脚設置箇所上流、下流、旭川河口部、児島湾内中央あおのり区画付近、児島湾口部及び沖合のり養殖区画付近の計6地点	表層、底上1m	採水、测温
			塩分				採水、分析
			底質			表層泥	採泥、分析
工事中調査	令和8年度	バックグラウンドデータとの比較目的のため実施	水質	2季(5月,10月)	右岸側橋脚設置箇所上流、下流、旭川河口部、児島湾内中央あおのり区画付近、児島湾口部及び沖合のり養殖区画付近の計6地点	表層、底上1m	採水、分析(アルカリ法)
			COD _{OH}				採水、分析
			全窒素				採水、分析
			全リン				採水、分析
			無機態窒素*				採水、分析
			無機態リン				採水、分析
			溶存酸素濃度(DO)				採水、分析
			水素イオン濃度(pH)				採水、分析
			懸濁物質(SS)				採水、分析
			機器測定 (pH、DO、水温、塩分、濁度)			表層～1mピッチの測定	機器測定
			底質			表層泥	採泥、分析(アルカリ法)
			COD _{OH}				採泥、分析
			硫化物				

* 無機態窒素は、硝酸、亜硝酸、アンモニア態窒素の合計とする。

2) コンサルタント的業務

①計画準備

本業務の計画書を作成する。

②打合せ協議

本業務の打合せ協議は、業務着手時、中間報告時、及び成果品納入時の計3回とする。

③調査結果とりまとめ

以上の測定、分析結果を整理し、とりまとめる。

④漁業環境の現況評価

以上の調査結果を基に漁業環境の現況を評価する。

⑤漁業関係団体説明資料の作成

漁業環境の現況について、漁業関係団体へ説明するための資料作成を行う。

⑥報告書作成

以上のとりまとめ結果、漁業環境の現況評価結果を基に報告書を作成する。

9 変更後業務委託料の算出について

業務委託料に変更があった場合の変更後業務委託料の算出は、次の式による。

変更後業務委託料

$$= (\text{変更後設計金額(税抜)} \times \frac{\text{当初業務委託料(税込)}}{\text{当初設計金額(税込)}}) \times (1 + \text{消費税率})$$

上記の算定式で、括弧内の計算の結果、10,000 円未満の端数を生じたときは、これを切り捨てる。

10 最低制限価格について

最低制限価格の算出にあたっては、「岡山市建設コンサルタント業務等最低制限価格の設定に関する要綱」によるものとし、本業務については、下記の業種区分を適用するものとする。

(1) 委託数量総括表「測量業務」については、岡山市建設コンサルタント業務等最低制限価格の設定に関する要綱第4条表中の業種区分「測量業務」で算出している。

(2) 委託数量総括表「解析等調査業務」については、岡山市建設コンサルタント業務等最低制限価格の設定に関する要綱第4条表中の業種区分「土木関係建設コンサルタント業務」で算出している。

11 その他留意事項

(1) 納品後の成果品の修正

受注者は、本業務完了後、成果品の誤謬、脱漏等により工事発注が困難となるような事態が発生した場合は、速やかに成果品の修正等を実施すること。

12 ウィークリースタンスの推進

(1) 本業務は、ウィークリースタンス（受発注者間で設計業務等の業務環境を改善し1週間における就業環境改善の取組）の対象業務であるため、以下の①～⑨について受発注者の協力のもと取組むものとする。

① 月曜日（休日明け）を依頼の期限日としない。

② ノー残業デー（水曜日）は、勤務時間外の依頼及び16時以降に打合せはしない。

③ ノー残業デー（水曜日）に資料作成の依頼を行う場合は、翌日（木曜日）を期限日としない。

④ 金曜日（休前日）に新たな依頼をしない。

⑤ 資料作成等作業依頼を正規の勤務時間以外には行わない。

⑥ 打合せの開始時に終了時刻を定め、原則その時刻内に完了する。

⑦ 昼休みや午後5時以降開始の打合せをしない。

⑧ 作業内容に見合った作業期間を確保する。（休日等に資料を作成しなければならない状況が発生しないよう配慮する。）

⑨ その他、任意に設定。

(2) ウィークリースタンスとして取り組む内容は、初回打合せ時に受発注者の協議によって「ウィークリースタンス推進チェックシート（初回打合せ時）」を基に決定する。取組期間については、初回打合せ時（実施内容を設定した日）から工期末までとする。

(3) 受発注者は、中間打合せ等を利用して取り組みのフォローアップ等を行わなければならない。

- (4) 成果物納入時の打合せにおいて、実施結果（効果・改善点等）を受発注者双方で確認し、「ウィークリースタンス推進チェックシート（実施結果）」に記入し打合せ記録簿で提出し、共有する。
なお、「ウィークリースタンス推進チェックシート」の様式は下記のホームページで入手できます。
<https://www.city.okayama.jp/jigyosha/0000028872.html>